

STOP! 熱中症

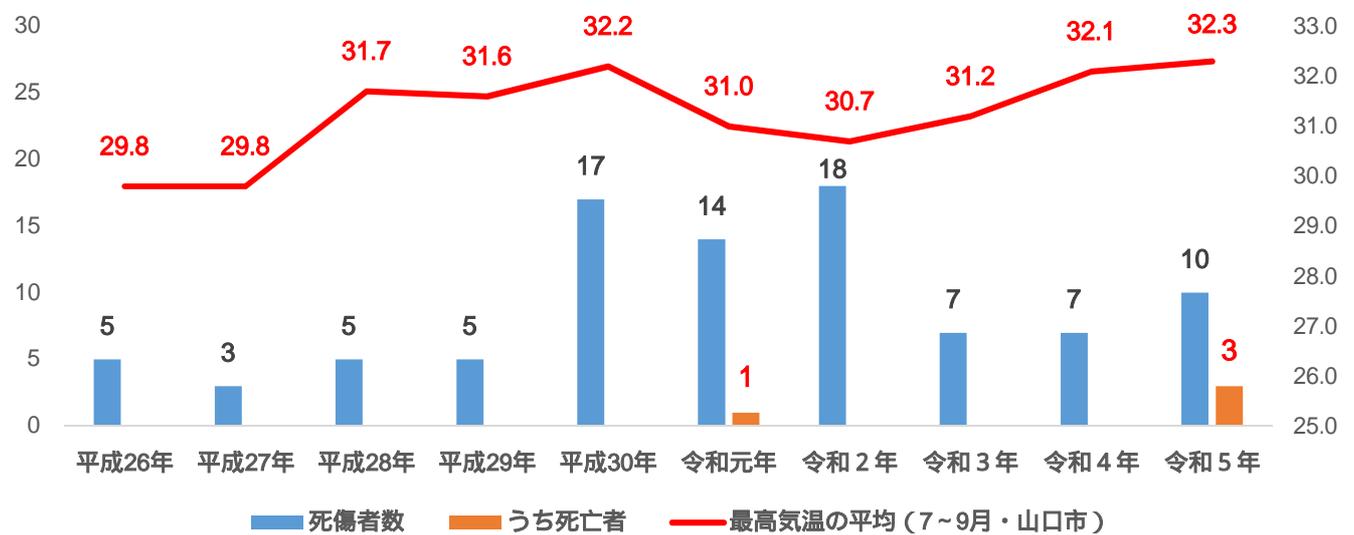
—過去の労働災害から見た熱中症予防対策

山口県では過去 10 年間で職場における熱中症により 91 人が被災しています。

令和 5 年には死亡者が 3 人発生しました。熱中症予防対策のより一層の徹底を!

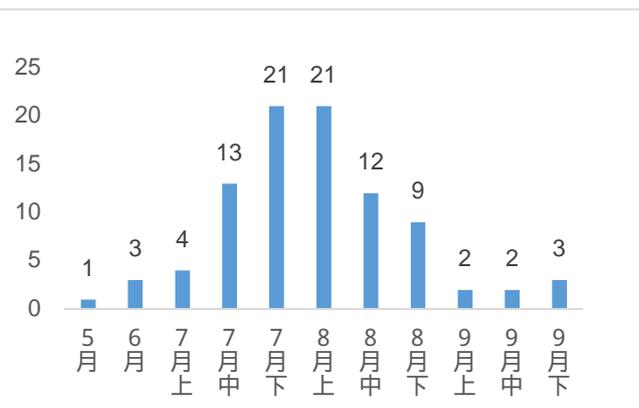
山口県における熱中症の発生状況

暑い夏は要注意!



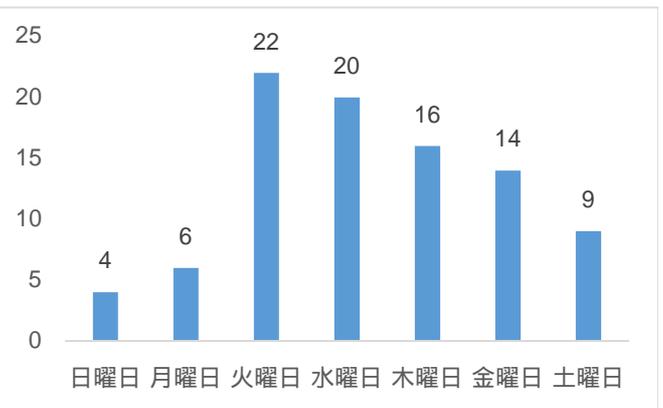
平均気温の高い年は熱中症也多発する傾向にあります。

7月中旬から8月は要注意!



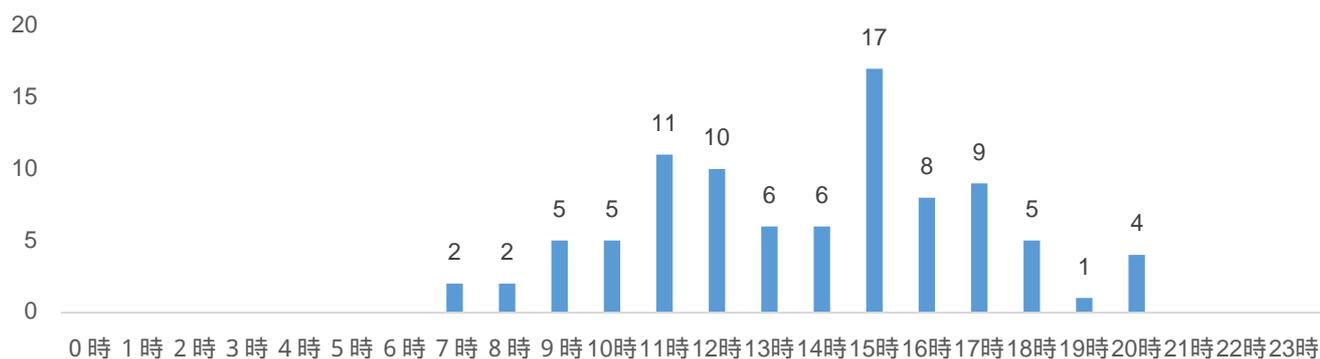
梅雨明けの7月中旬から8月にかけてが、熱中症発生のピークです。

火、水曜日は要注意!



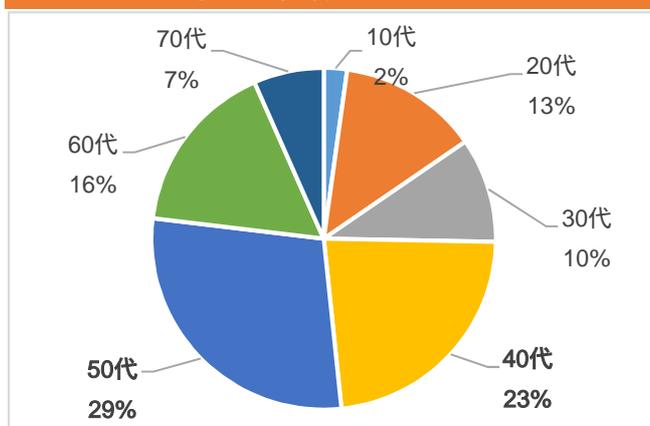
火曜日から水曜日にかけて最も多く熱中症が発生しています。

15 時台は要注意！



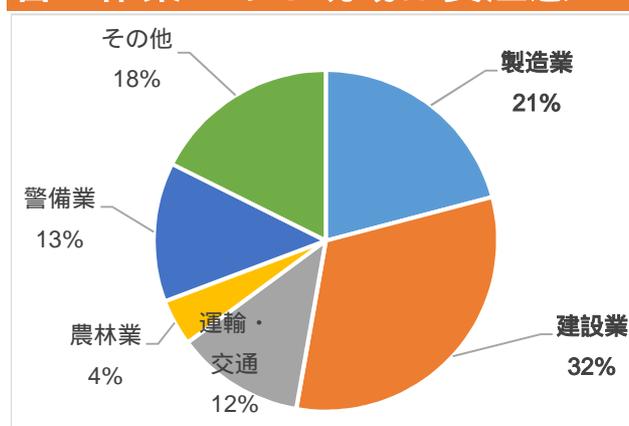
15 時台に最も多く発生しています。

40～50 歳代は要注意！



40～50 歳代が約 6 割を占めています。

暑い作業のある現場は要注意！



製造業、建設業等で多く発生しています。

熱中症を予防するため！

- W B G T 値を把握しましょう
J I S 規格に適合した W B G T 指数計で W B G T 値を測りましょう
- W B G T 値に応じた熱中症リスクの低減措置をとりましょう
- のどの渇きに関係なく、定期的に水分・塩分を摂りましょう
- 具合が悪くなったときは、一旦作業を離れ涼しい所で休憩しましょう



チュウイカン吉

熱中症が疑われるときは

全身を濡らして送風することなどにより体温を低減する、体調不良の者に異常を認めたときは医療機関への受診(必要に応じて救急隊の要請)などを措置しましょう。県内では、具合が悪くなった労働者を自動車内で休憩させていたところ、容体が急変して車内で亡くなった事案があります。一人きりで放置しないことが大切です。



学ぼう！ 備えよう！ 職場の仲間を守ろう！
職場における熱中症予防情報
<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>